

いけだ

議会だより

No.126

平成19年11月1日
発行



▲自分達で考えた“きめ”のポーズ（池田小学校運動会）

9月
定例議会

●ホームページ●

<http://www.town.ikeda.gifu.jp/gikaki/gikai.htm>

●E-mail●

yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

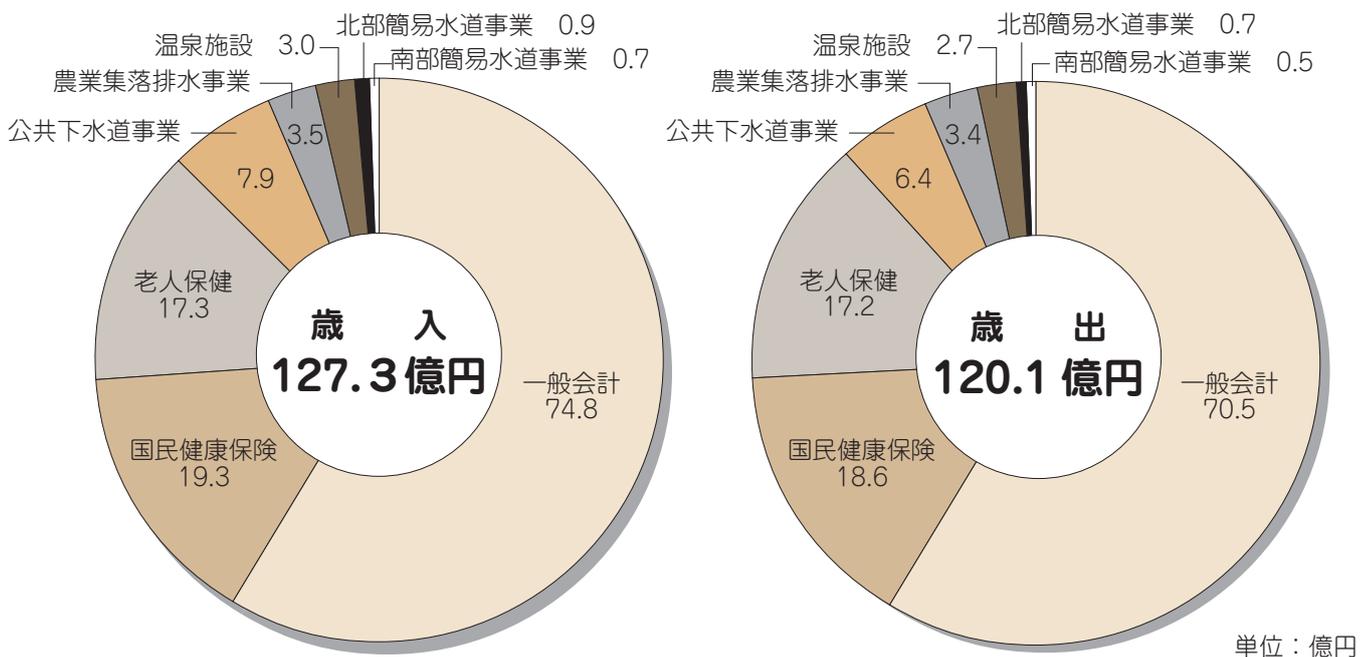
主な内容

平成19年9月議会	2
一般質問	4~7
委員会レポート	8~12
編集後記	12

意円 その成果はあったか 計・各特別会計決算を認定

定例会

一般会計 歳入 74億8千万円
歳出 70億5千万円
特別会計 7会計と事業会計(水道)も認定



監査委員の意見

- ◆ 平成18年度決算について
 - ・会計経理はすべて適正であった
 - ・公共工事の抑制、人件費・物件費等の行財政改革の効果が財政面に現れている。今後とも健全化に向けて努力されたい。

9月議会
平成19年
9月7日～19日

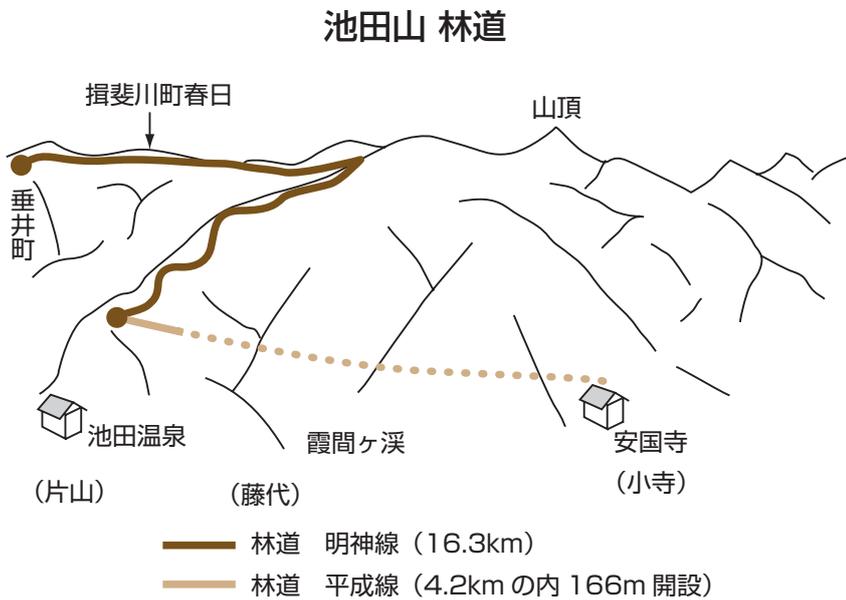
どう活かされたか

歳出総額 120億 平成18年度 一般会計

9月定

主な事業

温知小改築	6億987万円
(総事業費)	9億8611万円
池田南部公園整備	8074万円
池田山平成線開設	3874万円
杉野交差点改良	2700万円
防災コミュニティセンター建設	3019万円



町民1人当たりの税負担

池田町	9万9980円
類似町	13万938円

町民1人当たり歳出額

池田町	28万7040円
類似町	31万9438円

起債未償還額 (借金)

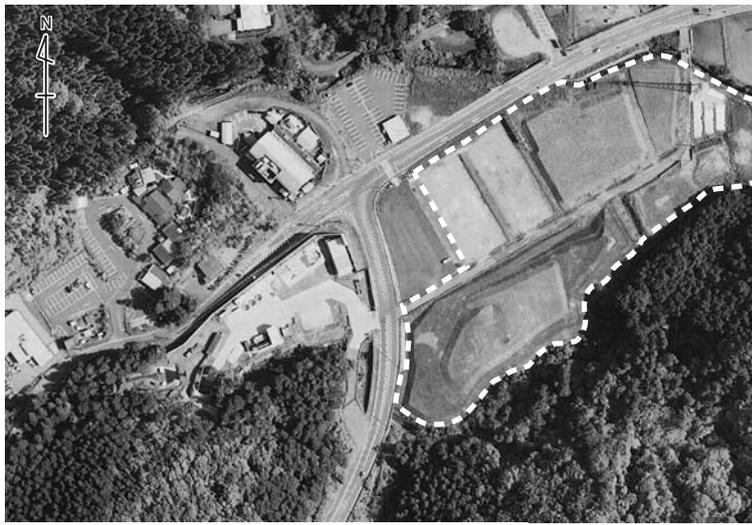
一般会計	67億9641万円
(一人当たり)	27万7404円
特別会計	86億7557万円
(一人当たり)	35万4105円
計	154億7198万円
(一人当たり)	63万1509円

人事案件

固定資産評価審査委員

河野和通

池田町宮地九四六番地の一



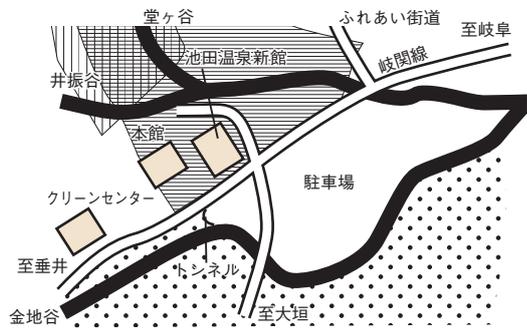
窪田弘子 議員

池田温泉付近の航空写真
点線わく内のみ町有地
(土地開発公社も含む)

「道の駅」は 池田温泉のためにならない

私（町長）の選挙公約の一つだ

急傾斜地崩壊危険箇所 土石流危険区域
砂防指定地 谷



真中の安全地帯（駐車場）が道の駅予定地

池田温泉の本館新館とも土石流危険区域にあり、北側は急傾斜地崩壊危険箇所で谷の合流点がある。南の駐車場の南の山は砂防指定地。集中豪雨や地震災害も想定しなくてはならない。今度町が買つた南の駐車場はポッカリ安全地帯で広さ・地

形交通の便からも将来の温泉建設用地として最適、何も建てず残すべきだ。補助金をもらって建てたらもう壊せない。

新館は道路改良で道も今より1.5m下がって登るのも大変になるのに、道の駅が出来たら温泉客はさらに駐車場が遠く不便になる。お客様を大事にしないと。道の駅の主目的は地元農産物販売。それは東の方に土地だけ貸して民間に経営してもらえばいい話だ。

特に先進地との交流はやる気のある職員にとっていい経験だ。多くの自治体がやっている。

必然性のない道の駅に3億5千万円は使えない。少しでも余裕があったら、平成38年までかかる下水道事業を早めるなり、八幡小改築に取りかかるべきだ。

まだ総事業費もつかんでいないが、建てるのは真中の西北よりの部分で小さいものだ。温泉を建て直すにしても土地は充分ある。

町長

道は農産物販売所が中心

道の駅立地検討調査委託業務

平成18年12月

概要

計画地は、池田温泉と斜向かいとなる土地にあって大垣池田線と岐阜関ヶ原線に面している約25,000㎡の広大な敷地である。今回の計画では、現在盛況である池田温泉の駐車場も兼ねた一体の計画として道の駅登録申請を行うものである。また、岐阜関ヶ原線にあって現在工事中のトンネルも開通し、池田温泉の利用者はますます増えるものと考えられる。

当該計画地においては現在温泉施設の並びで農産物販売所が建てられているが池田温泉の賑わいに乗じて盛況となっている。これらの状況を踏まえ道の駅としては農産物販売所を取り込み地域振興施設を併設する方針である。

池田町役場

道の駅は農産物販売所が中心

職員の人事交流をして 行政のレベルアップを 機会があれば進めていく

善政競争には必要だ。

町長
民間派遣も含め考え

ている。職員にはインターネットなどでも自己研鑽するよう言っている。

一般質問

- ① 防災計画の進み具合
 - ② 備蓄品
 - ③ 避難所の体制
 - ④ 自主防災組織の災害復旧用品の注文リスト
 - ⑤ 災害時の要援護者対応
 - ⑥ 住民への啓蒙
- 東海地震・東南海地震の海溝型地震の他に活断層による内陸型地震など大規模地震が予想される。町は東南海・南海地震の対策推進地域に指定されている。対策を聞きたい。



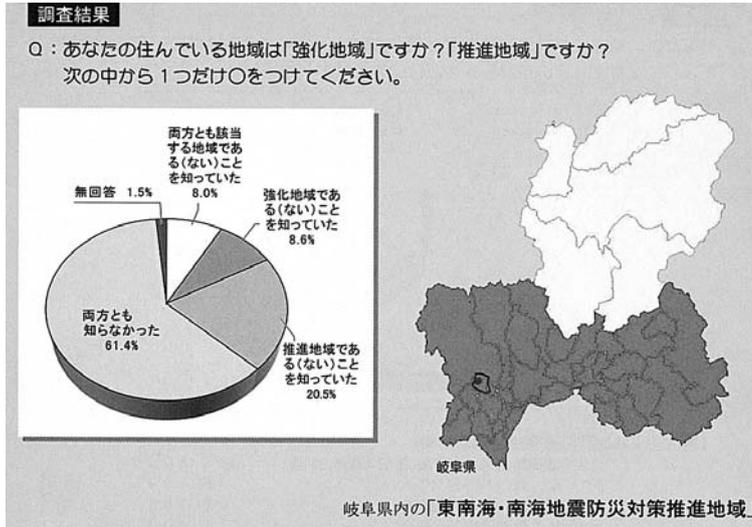
倉地幸子 議員

大地震に備えて 防災対策の徹底を！

自主防災組織を機能させたい
最低でも3日間の食糧は自分で確保を！

町長

- ① 過去2回、地域防災会議で大地震への対策や防災全体計画の協議を行った。
- ② 町内7ヶ所の防災備蓄倉庫にアルファ米約8千食、乾パン約2千食、保存水約2万ℓ。最大避難者数の1日分



阪神・淡路大震災による室内の状況

- ③ 第一次避難所・町内15ヶ所の公共施設が避難所。
 - ④ 県想定の前蓄モデル品により上限20万円。3分の2を町が補助。防災倉庫も導入。
 - ⑤ 民生児童・福祉委員が毎年、要援護者を把握。災害マップは県内6市町村しかない状況で当町はいち早く対応。
 - ⑥ 自主防災組織の充実。安心見守り隊による平常時の見守り、災害時の活動をお願いする。
- を確保。毛布・青シート・担架・仮設トイレ・ジャッキ・浄水器も。

子供農山漁村交流プロジェクトを 地域振興に生かしては？

町が農業で元気になり
教育に貢献できるのはよいことだ

町長

今後は具体的に進めたい。
(※詳細は議事録を)

老人・乳幼児など災害弱者の備蓄品の再考を。図上訓練・地震の講演会など啓蒙活動も必要。



防災倉庫

今後5年間で全国の小学生に農山漁村での長期の宿泊体験活動を通して教育活動を展開すると文科省・総務省・農林水産省が発表。お茶や梅など池田の特色ある農産物や自然豊かな町をPRする上でもチャンスだ。若い職員が活躍する機会を与えていただきたい。

町長

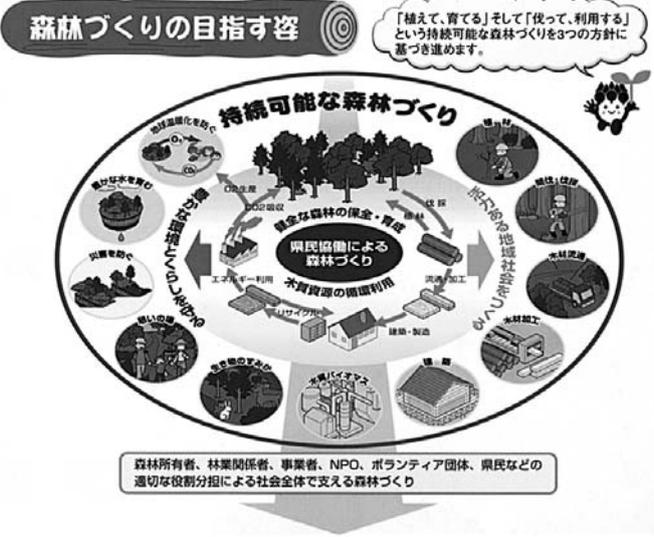
豊かな自然も研修施設もある。町が農業でも元気になり、子供達の育成に貢献できるように施策を進めたい。

県森林づくりプロジェクト に参加したらどうか

里山整備と間伐で再生を計る



竹中芳弘 議員



災害に強い森林づくりを基本として、環境保全を重視する森林と木材生産を重視する森林の2つに分けて、5月に県森林づくりプロジェクトが制定された。池田町も42%を森林が占める事を考えると、これに参加すべきと考

町長
森林組合と素材生産者が提案者になってきた。1団地500ha程度の面積が必要であり、池田町のように急傾斜では、高性能の機械導入は、むずかしい。町としては全体的に治山を進めるが、里山エリア再生交付金事業制度もあり、間伐をしての森林整備を図りたい。



中学生の森林体験学習



町内の地下道を行く小学生

町内の地下道はもつと清潔に

今後共地域と町で管理してゆく

町長
町内の岐阜関ヶ原線に地下道は7か所ある。現状は、周辺の雑草、落書き、ゴミ、電燈の不具合がある。常に保守、管理してほしい。

町長
県の管轄でもあるが、いずれは町で全部保守管理することになる。奉仕活動の一環で塗装工業界に公共施設の落書き落としを毎年一回行ってもらっている。

在町の外国人対策はどうか！

地域と企業で対応を

池田町に在住の外国人は、17か国316人。企業誘致すればさらに増えるが、安全対策はどうか。

町長
地域活動に企業を通じて参加してもらい、地域の方との文化交流を深めてもらう様、工場会・警察とも協議しながら対応していく。

一般質問

岐阜関ヶ原線に関連して平成10年に池田町土地開発公社が取得した土地(209㎡)が目的どおり利用されず、民間企業が借地料も払わずに一体敷地として使っている。早急に解決を。他にも町有地が民間駐車場として利用されているが側溝の占有料も含め契約変更しているのか。他にこうしたことはないか。



野網義一 議員

町有地の民間利用は適正か!?

地域と企業で対応を

町長

事業用地の替地を含めて非常に難航した。町が取りあえず「道路事業用地」として取得その後、買収について話し合いをしたがまとまらなかった。今年の12月には解決の見通しがあった。

側溝は法定外の公共物の占有として占有料をもらっている。駐車場も一体利用ということで価値が変わったので単価アップを含めて調整している。

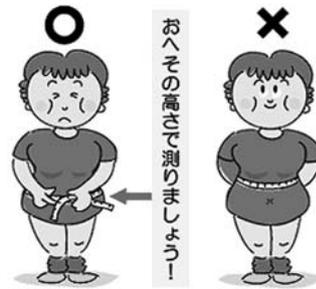
ゼロではない。隣接の地権者に買ってもらうような努力する。

生活習慣病対策 (特定健康診査) は大丈夫か?

未確定部分が多く大変だ
体育館のランニングマシンを増設

メタボリックシンドロームの診断基準

必須項目	内臓脂肪蓄積 ウエスト周囲径 男性 $\geq 85\text{cm}$ 女性 $\geq 90\text{cm}$ (内臓脂肪面積 男女とも $\geq 100\text{cm}^2$ に相当)
選択項目	高トリグリセライド血症 $\geq 150\text{mg/dL}$ かつ/または 低HDLコレステロール血症 $< 40\text{mg/dL}$
これらの項目のうち2項目以上	収縮期(最大) 血圧 $\geq 130\text{mmHg}$ かつ/または 拡張期(最小) 血圧 $\geq 85\text{mmHg}$
	空腹時高血糖 $\geq 110\text{mg/dL}$



来年4月からメタボリックシンドローム対策の特定検診が国保に義務付けられ、5年後には65%の受診率や45%

町長

平成18年度の受診率は34.2%。これを65%まで上げるのは大変。検診の負担金も現行の千円より上がる見通し。保健指導は職員が直接指導する。まだ、未確定の部分が非常に多い

%の保健指導率、10%の改善率が達成出来なければ後期高齢者の支援金が減らされる。現状と見通しについて。

町長

現場のレイアウトを考えながら増設出来るよう対応したい。

総合体育館オープン以来17年間使ってきたランニングマシンが故障した。メタボ対策にも有効な機器。新しい機器を早急に導入したい。

中で計画の策定を進めている。



早く新しいマシンを (総合体育館)

総務委員会

付託案件

◎平成18年度一般会計
決算の認定
◎平成19年度一般会計
補正予算

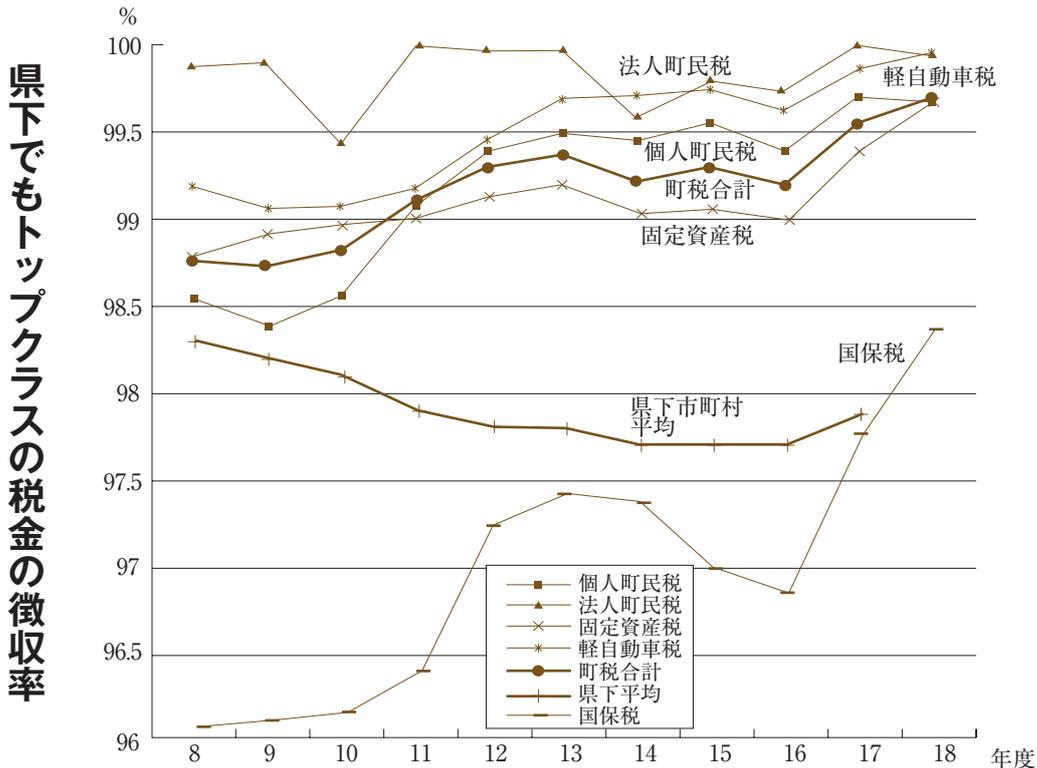
主な審議の内容

- Q** 税金滞納の徴収率は、県下トップクラスとなり町職員の努力による。他市町から「徴収方法を教えて」と言われないか。
- A** 問い合わせ・視察があり、講演を一つ頼まれた。水道・町営住宅・国民保険などにも滞納があるが、他の課と連携協力しているか。
- A** 関係の課と情報交換しながら収納率アップをはかっている。個人情報には十分気を配っている。
- Q** 固定資産税の伸びが税収増の大きな要因だ。ずっと右肩上がりである

- いる固定資産税はいつまで上がるのか。
- A** 土地の税額は、課税標準額の6割〜7割になるよう毎年5%ずつ上がっていく。もうその標準額の5割ぐらいの所へきているので、今しばらくは上がる。地価の下がっている所は、税金も下がる。
- Q** 町債は政府資金より一般金融機関で借りた方が、金利が安いのが、できないのか。
- A** 町債は従来の許可制から届け制になった。国の地方債計画に基づき、政府資金については各事業に割り当てられるものがあり、それほど自由にはならない。金利は固定金利。
- Q** 職員人数の計画的な定数管理に努力してみえるが。

- A** 行政改革大綱の通り、現在の正職員198名を平成22年には188名にする計画。現在、臨時職員は99名。
- Q** 同一部署に長年いる職員もいるが、人事の方針は。
- A** 1つの課には7年位の者・5年位の者・1・2年の者がいないとうまく回らない。近年は専門性も問われる。事務の場合は3年、技術関係は5〜7年をめどに、全体を見ながら人事異動をしている。
- Q** 公共用地として使用している借地は早く買い取る努力をされたい。
- A** 行政財産で借りている土地や、土地開発公社で持っている分を町へ買い戻すよう、毎年2千万円〜3千万円、計画的に何とかしていきたい。
- Q** 役場の電話代もかなりかかっている。町内はもつと有線を使うよう職員に徹底されたい。
- A** 絶えず言っているが、さらに徹底する。

池田町と県平均の徴収率（現年）



県下でもトップクラスの税金の徴収率

民生文教委員会

付託案件

- ◎平成18年度
 - ・一般会計決算の認定
 - ・国民健康保険特別会計決算の認定
 - ・老人保健特別会計決算の認定
- ※20年度4月から従来の老人保健制度から岐阜県広域連合による75歳以上の後期高齢者に対する保険制度が発足する予定。
- ◎平成19年度
 - ・一般会計補正予算
 - ・国民健康保険特別会計補正予算
 - ・老人保健特別会計補正予算

主な審議の内容

Q たくさん作品をゆつくり見るには文化祭の2日間は短すぎる。運営の経費は。



文化祭

A 日程は文化連盟で協議をしたい。最近は大人の出品に比べて小中学校の協力で児童生徒の出品が多くなってきた。経費84万円のうち一部を連盟から出している。

Q 親子土曜教室は発足して5年、町の定番事業になってきた。昨年度の延べ参加人数と内容は。

A 18年度は56回開催。大人713人、小学生949人計1,662人。

親子で手芸や料理、子育て支援センターとのコンサートなど多彩な活動を行っている。子供の数が減っているので子供同士で触れ合う機会を増やそうと放課後こども教室も1ヶ月に1〜2回開いている。

Q 地域によっては医師不足が問題になっているが、この地域（池田・揖斐郡）はどうか。

A 廃業されたり高齢になられていることもあって厳しい面もあるが揖斐郡全体でご協力をいただいている。

Q 南部公園のトイレの増設計画・植樹・休憩所についてはどうか。

A 現在のトイレの北側にブロック積みで小2基、大2基増設予定。

Q 公園の南は水がよくたまり根腐れが心配されることが試験的に樹を植えてみる。休憩所（ベンチ）は単管パイプで東のバックネットの側に作る予定。

Q 教育費の光熱費、約400万円の不用額の内容は。

A 電気代と水道代の節約の結果であるが、各学校でも平均40万円程度、公民館と庁舎合わせて125万円の自助努力の結果。今後も更なる努力を重ねた

Q クリーンセンターの窓口は張り紙が多く、中が暗くて見えない。雨のことも考えひさしやカウンターを付けるなどして受付けしにくい。構造上の問題もあり難しいが検討してみたい。



池田町クリーンセンター

建設産業委員会

付託案件

- ◎字(下東野)区域の変更
- ◎平成18年度決算及び平成19年度補正予算一般会計
- ・北部簡易水道事業
- ・南部簡易水道事業
- ・農業集落排水事業
- ・公共下水道事業
- ・温泉施設
- ・水道事業

主な審議の内容

- Q** ハンググライダー着地料の寄付金の根拠は。
- A** 約2鈔の借地料や年3回の草刈代をいただいで、関係者に払っている。
- Q** 山頂道路の通行止め期間を短く出来ないか。
- A** 毎年12月15日から翌年3月末までを通行止め期間にしている。雪が少ない時よく聞かすが、管理が

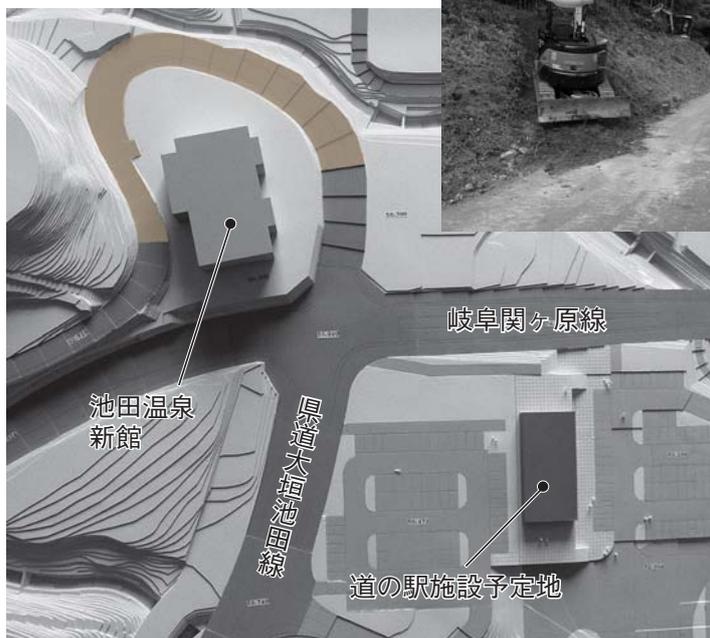
難しい。

- Q** 「美濃いび茶」をブランドとして売り出しているが、お茶の品種改良や乗用型茶刈機の普及は進んでいるのか。
- A** 「やぶきた」への品種改良は50%弱、圃場整備が進まず導入11台に留まっている。産地として100%は確保したい。



乗用型茶刈機による収穫(願成寺地内)と『美濃いび茶』

- Q** 「いこいの森」の測量は進んでいるのか。
- A** 土壌汚染の関係で遅れているが早急に進める。
- Q** 温知小学校南の歩道の測量は。
- A** 工期が11月末で一応、測量結果ができていますが、歩道の幅を3mにするか2.5mにするか詰めている。
- Q** 旧川口屋交差点の改良を進められたい。
- A** 地権者と交渉の場を持つよう努力している。国道417号線の横断歩道は



池田温泉新館ロータリー 工事10月から始まる

- 用地の確保が出来なくても実現出来るよう公安と交渉中。
- Q** 水道料金の滞納者に督促状や催告状を出しているのに手数料が入っていないのはおかしい。
- A** 取っていない。今後は税金と同様督促料もいただく。
- Q** 滞納が目立つ地区があるがどうか。
- A** それぞれ事情があるが、催促等努力したい。
- Q** 池田温泉新館ロータリー工事はいつから始まる。
- A** まもなく着工し、工期は年内の予定。

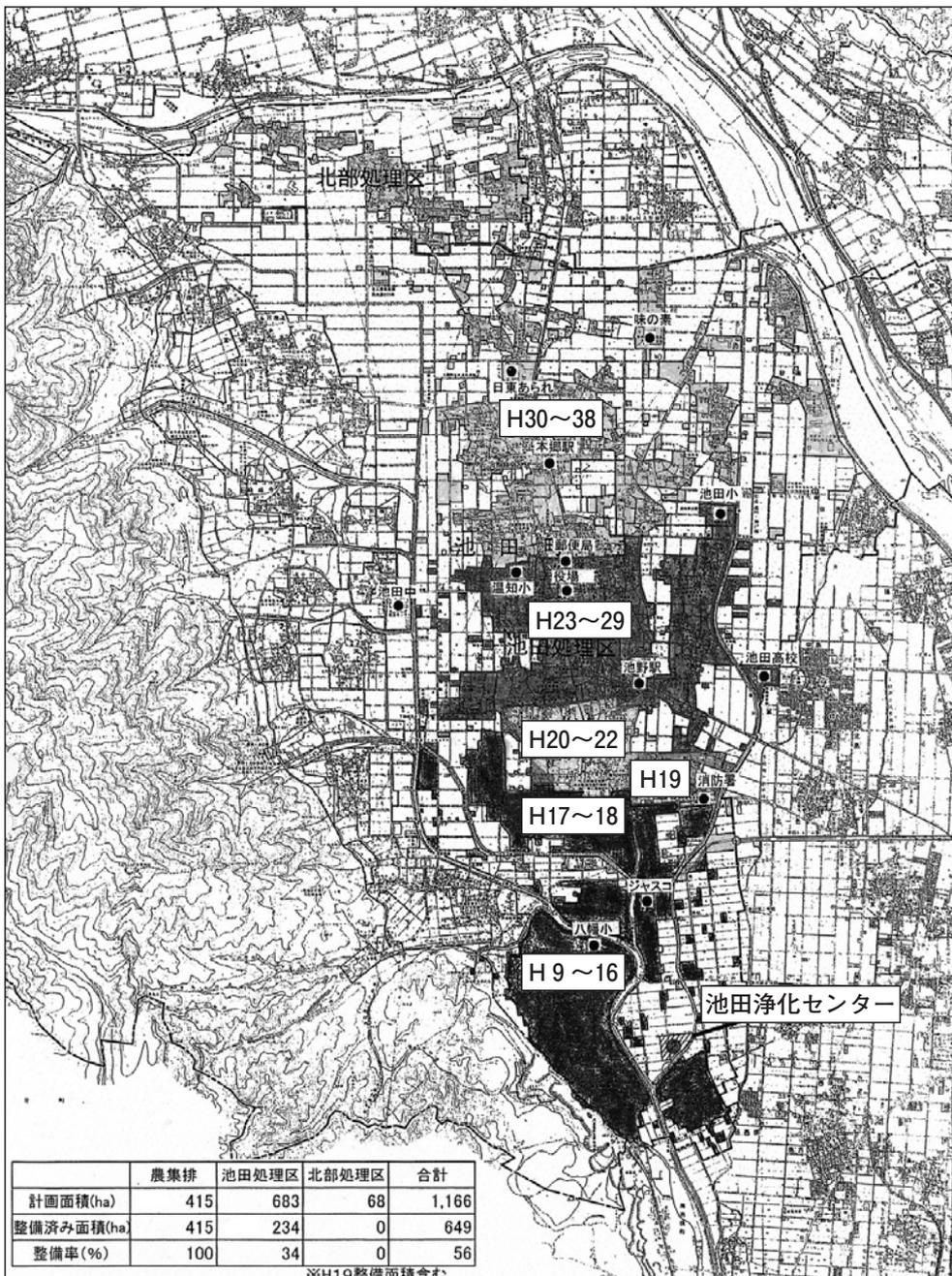
下水道特別委員会

平成19年度管路工事
区域下水道工事計画、
その他進捗状況の説明
を受けた

主な審議の内容

- Q 平成19年度、工事状況はどうか。
- A 上八幡地内と田畑地内で3か所。新たに上八幡地内49haを追加施工する。
- Q 平成20年度から22年度は。
- A 池野連担地域25haの計画である。22年度には霞間ヶ浜街道から南を進めていきたい。予定より1年か2年短縮できる状況にある。
- Q 全体の整備はいつになるのか。
- A 池田処理区は平成36年度ぐらい。北部処理区を含めて平成38年度までに完成したい。

公共下水道事業 整備予定計画



Q 下水道料金の従量制(メーター制)はどうなつたか。

A 今の状況では1年、2年で従量制にするのは難しいが、引き続き検討する。

行財政改革特別委員会

バランスシート、行政コスト計算書、資金収支決算書について説明

主な審議の内容

- Q** バランスシートや行政コスト計算書等はなぜ必要か。
- A** 町の財産、町債等の債務状況や償還能力を明らかにし、来年度以降に引き継ぐ財産と住民負担がわかる表で経営感覚での大事な資料になっていく。
- Q** 前年との比較、他町との比較等一人あたりのコストを出してはどうか。
- A** 他市町の状況を踏まえ今後出ていく。
- Q** 町政の運営において企業的感覺は重要であるが、限られた税収の中でどこまで推進し反映出来るか。
- A** 最小の行政コストで最大の行政サービスという経営効率等の追求は企業も行政も同じであり、目的が収益性が公共性かの違い

である。平成18年度決算を踏まえ状況を提示していく。

Q 土地明細書に面積を記載できないか。

A 昭和44年以降の決算統計より算定はしている。近年のものなら計上出来る。

Q 土地開発公社の所有地も含め時価評価額にすべきでは。

A 総務省のルールでやっているので時価でなく買い取り価格だ。

Q 1、000万円以上の事業については、その後これだけの効果、成果があったとの成果表を作成されたい。

A 作成する必要があるので、今後作成し提示する。

Q 18年度約1、361万円の徴収を放棄した不納欠損額の内容は。

A 町税約1、334万円、町営住宅使用料約27万円の未納分。尚、今後もバランスシートについては、広報誌で町民がわかりやすい形で引き続き掲載してほしいとの要望がありました。

編集後記

八月の記録的な猛暑と九月の厳しい残暑は、私達の生活リズムを狂わせ、農作物等へも大きな影響があったが、十月に入りようやく朝夕涼しくなってきた。

米や豆の取り入れ、実りの秋、食欲の秋と、自然に何でも集まる恵まれた人間社会。

しかし、野山に住む熊や鹿達は食べるのに必死で、今年もあちこちで熊の出没が聞こえる頃となった。どんぐりなど実のなる木が少ないのか、熊達も食糧難の為、やむをえず人里に現われ、農作物や果実に被害を与えている。

昔と違い、山林と人の関わりが薄れ、手入れも届かず荒廃が進んでいる。地球の温暖化による自然の変化が、動植物ばかりか私達にも容赦なく襲いかかってくる感じがするこの頃である。

次回は12月初中旬に議会があります。傍聴にお出かけ下さい。

(安田)